

令和3年度（2021年度）

自己評価報告書

大東文化大学附属青桐幼稚園

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 大東文化学園  
大東文化大学附属青桐幼稚園

## 1.本園の教育目標

- ・心身ともに健康で豊かな感性を持ち、思いやりのある優しい子ども
- ・自分の考えや気持ちを伝えながら、友達と協力し合い行動出来る子ども
- ・感謝の気持ちを持ち、言葉で表現出来る子ども

## 2.本年度重点的に取り組む目標・計画

コロナ禍による園運営への影響や制約が続く中で、子ども達の学びと成長の場を提供し続ける事を最重要課題とし、安心・安全な園生活の為に感染症対策の徹底、工夫を重ねた保育活動や行事への取り組み、実施を目指す

## 3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：十分に成果があった B：成果があった C：一部成果があった D：成果がなかった

評価項目	評価	取り組み状況
1.教育活動の充実	A	安全を第一に保育や行事を工夫し、可能な限り実施した。ホールでクラスごとに保育参観を実施した。保育・体操・書道
2.環境整備・構成	A	園内抗菌コーティングを実施し、安心、安全な環境整備を行い感染予防対策を徹底した。空調清掃、扉の交換、遊具点検等
3.保育の質の向上	A	教職員間での連携（報連相）を徹底した。保護者限定アプリを活用し行事の様子や保育活動を写真や動画で配信した。

## 4.総合的な評価結果

評価 A：十分に成果があった B：成果があった C：一部成果があった D：成果がなかった

評価	理由
A	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、安全を第一とした感染予防対策を徹底したことで、学びと成長の場を提供し続ける事ができた。また、更なる質の向上に向け次年度も安全を第一に取り組んで参りたいと思う。

## 5.今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1.研修・資質向上	保育者としての資質向上の為に、自己課題を持ち改善に努める。
2.保護者との連携	アプリを活用し、園から保護者へ活動についての動画等の配信に努める。 連絡帳、電話、対面での相談や面談を実施し連携を深める。 引き続き工夫した行事の実施に努める。
3.教員の人材確保	保育や預かり保育の質の向上、1号認定者への子育て支援、特別支援体制の整備、充実。

## 6.学校関係者評価委員会の評価

新型コロナウイルス感染症対策として、検温や消毒等通常業務以外のご苦労が多い中で、保育や行事を工夫し、園児や保護者の為に実施されていた。

漢字教育や言葉の教育、書道は、考える力や理解力、集中力を身に付ける事ができ、小学校進学に向けての準備として素晴らしいと思う。

40年ぶりに小学校の1クラスの人数が上限35人に変更になったことを考えると、幼稚園は30人以下が理想なのではないかと思う。

就労する保護者も益々増加すると思うので、預かり保育の充実が重要と考える。

「生きる力」を身に付けて行くことが子ども達にとって大切と思う。

特色ある青桐幼稚園の教育を今後も継続し子ども達の為に頑張って頂きたい。

委員会実施日

令和4年3月31日